

花屋敷 笑顔だより

第3号

発行/社会福祉法人聖隷福祉事業団 花屋敷せいの里 2002年8月発行
〒665-0808 兵庫県宝塚市切畑字長尾山5-321 TEL.0727-40-3388 / FAX.0727-40-3980



花屋敷にスターがやって来た!

第1弾



田端義夫さん

南條隆さん

大塚文雄さん

あんな有名な方のコンサートを見せたらうちは、もうお世辞でもありませんでしたから驚くと同時に嬉しかったです。また、握手をして頂けて幸せでした。これもアイサービズに来ていれは、さぞお思い感謝しています。



田端義夫様、今日は我が栄光園に来て頂き有難うございました。夢のような楽しい数時間を過ごすことが出来ました。民謡や踊りも楽しく、また何年か先に来て頂く事を願って我が人生を送っていききたいと思っております。

右難うございました。
(ケアハウス入居者 石川幸子さま)

平成14年5月10日(金)に花屋敷せいの里の大ホールにて、大物スターのコンサートが開催されました。民謡界のスーパースターである大塚文雄氏、劇団の南條隆氏、そして歌謡界の大御所田端義夫氏の来園とあって入居者の皆様、アイサービズの利用者の方々、花屋敷せいの里全員が心待ちにしてこの日を迎えました。大塚文雄氏の歌声が始まり、参加者全員が拍手で応え会場内は盛り上がりました。そして、南條隆氏の浪花盃の見事な舞に続き、ブルーのスーツ姿で「オッス」と田端義夫氏が登場されると会場より「端やさん」と大きな歓声が上がります。十九の春、帰りの船など懐かしの歌声が流れました。中には感激のあまり涙を流される方もいらつしやるほどの大反響に終わり、おかげで楽しい、ステキな一時を過ごすことが出来ました。

職場紹介

生活相談係

花屋敷栄光園も開設から3年が過ぎ、今年4月からは4年目に突入しました。当初の生活相談員は2名で業務をしていましたが、昨年4月からは現在の3名体制となりました。各階に生活相談員を1名ずつ配置し、そしてまとめ役としてリーダーの生活相談員1名を配置しています。

では、生活相談員とは花屋敷栄光園の中でどんな役割を果たしているのでしょうか。主な仕事としては家族様との連絡窓口、また園外の方々との連絡調整です。日頃は介護業務に携わらないため、各階の介護員室にいるイメージがあるかもしれませんが、いつでもジツとしているわけではなく、連絡調整のため園内を歩き回り園外へ出かけることもしばしばです。

職員にとっては「さっきまでそこに居たのに、もう居ない」という、忍者のような存在です。しかしお呼びとあれば即参上したいといつも心掛けています。これからも家族様と介護現場の掛け橋として頑張っていきたいと思っております。



ボランティアありがとうございました

● ボランティア記録より 平成14年1月~7月 ●

〈個人〉

※順不同・敬称略

近藤 周太郎/濱田 幸子/浦 千代子/高瀬 治子/上田 陽子/相井 尚子/東 和子/奥田 佳代子/辻 郁子
垣内 俊成/角岡 ふみ子/高瀬 進之助/坂下 幸子/河田 強/有田 昌子/すみれ欽花

〈団体〉

※順不同・敬称略

ありのままグループ/朗読の会 ほのほの/コミュニティのばり

★ 花屋敷せいの里納涼祭ボランティアをして下さった方々ありがとうございました。★

第3回 花屋敷せいれいの里 納涼祭

平成14年 7月27日(土)恒例の納涼祭が行われました。花屋敷の方々の勇姿をとくにご覧下さい。



ご存知「湯島の白梅」

河内音頭だよ〜♪♪



祭りはいいよなあ

うま馬いわ〜



祭りだ、祭りだ

ドドンガドン!



花屋敷にスターがやって来た!

第2弾

トシの歌声に魅せられて

元X-JAPANのトシがせいれいの里を訪問するというニュースに喜んだのは利用者より職員の方でした。利用者にとってはただの青年が一生懸命歌っているという印象でしたが、私にとっては大変なことでした。指折り数えながら当日を迎えました。何か吹っ切れたような淡々とした様子に、元あの化粧と派手なパフォーマンスのトシの面影はみられませんでした。あの歌声は昔のままです。この癒された思いが私から溢れ出て、利用者まで伝染したようです。喜び、楽しい思いは悲しみ同様隠しきれません。ことあるごとに利用者と共に悲しみ、共に喜びを感じあえる触れ合いは私の大切な宝物です。突然のトシの訪問を一緒に喜んで下さる利用者へ感謝の一日でした。

(マイサービスマン)



平成14年6月4日(火) 元X-JAPANのボーカルの「トシ」の
アコースティックライブが開催されました。

今回はトシ自らの依頼により急遽この企画が実現しました。入居者の方々はもとより、職員全員が盛り上がりこの日を迎えました。綿シャツにチノパン姿でさわやかに登場されたアコースティックギターの弾き語りによる演奏が始まりました。初めてトシの歌声を聴かれた入居者の方々も透明感のあるステキな歌声に会場全体がうっとり、しっとり聞き入りました。

私のような年寄りにも十分理解できる心に沁みる優しい曲でした。コンサートが終わって「ありがとございました。」と声をかけたら、「おはあちゃんもがんばってね。」と言ってくれた時の笑顔は忘れません。

(特養1F入居者久保禎子さん)

